

エリザベト音楽大学
付属音楽園・エクステンションセンター
エリザベト演奏グレード検定試験
課題集



ELISABETH
University of Music

エリザベト演奏グレード検定試験

エリザベト演奏グレード検定試験とは、演奏の実技を学習する人たちに、自分の学習段階の自覚と、一步一步上の段階を目標に学習を進めていただくための検定試験制度です。

年齢・経験を問わず、音楽をはじめたばかりの初歩者から、音楽を専門に指導している上級者までどなたでも受験することができます。

可否は『技術』『音楽表現』のそれぞれについて採点し、総合得点で判定します。なお合格の通知の際には、項目別の得点表もお渡ししますので、その後の勉強のために役立ててください。

また、演奏グレード検定試験の結果により、エリザベト音楽大学の入学試験の実技科目が免除となります。

認 定 基 準

「技術」と「音楽表現」に分けて採点され、各項目とも5点満点です。合計点は10点満点で6点以上が合格となります。ただし、声楽のグレード4以上については、「ディクション（歌詞の発音）」が加わり、採点配分は「技術」と「音楽表現」の各4点、「ディクション」が2点となります。

また、「技術」は種別ごとに以下の細分項目（5点満点）があります。（副科ピアノは細分項目なし）

【声楽】

リズム・テンポ／発声・呼吸／音程／アーティキュレーション／フルーエンシー（流暢さ）

【ピアノ・打楽器】

リズム・テンポ／音質／打鍵等の正確さ／アーティキュレーション／フルーエンシー（流暢さ）

【管弦楽器】

リズム・テンポ／音質／音程／アーティキュレーション／フルーエンシー（流暢さ）

※アーティキュレーション (articulation) とは「各音相互の結び付け方と区切り方」を意味します。

留 意 事 項

1. 暗譜の有無は科目によって異なります。

暗譜を必要とする科目＝声楽、ピアノ、弦楽器、副科ピアノ

ただし声楽、弦楽器の当日指定の課題については、暗譜の必要はありません。

暗譜を必要としない科目＝オルガン、チェンバロ、管楽器、打楽器

ただしオルガンのピアノ課題は暗譜です。

2. 任意の1曲は、クラシック作品あるいはそれに準ずるものとします。

3. 伴奏については以下の通りです。

伴奏を必要とする科目＝声楽（全グレード）、管弦打楽器（グレード7以上）

伴奏を任意とする科目＝管弦打楽器（グレード1～6）

※伴奏者は受験者が用意すること。ただし、声楽の技術課題コンコーネ当日1曲指定の場合のみ、本学が伴奏者を用意します。

4. グレード10はグレード9を取得した方のみが受験できます。

5. 申込方法は、エリザベト音楽大学発行の『受講案内』を参照ください。